

第2章 計画の目指すもの

1 基本理念

県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現
～ 高齢期の暮らしを支える滋賀の「医療福祉」の推進 ～

2 基本目標

(1)地域力を生かした健康づくり・介護予防の推進と共生社会づくり

- 高齢期を自分らしく幸せに暮らすためには、健康で自立して過ごせる期間をできるだけ長く維持することが重要であり、そのため、住民グループやNPOの活動を含め、暮らしに身近なところでの健康づくりや介護予防活動などの展開を進めます。
- 高齢化の進展に伴い、高齢者の日常生活の支援だけでなく、環境、農業、子育て、地域文化の継承など、さまざまな分野で地域課題が顕在化しています。地域での暮らしを維持するため、高齢者が知識や経験を生かしながら、地域づくりの担い手として活躍できる環境づくりを進めます。さらには、多様な人々が一人ひとり生きがいや役割をもち、人と人、人と社会がつながり、共に支え合う「地域共生社会」の実現を目指します。

(2)医療と介護の一体的な推進と地域包括ケアシステムの深化

- 在宅療養を支える体制を一層充実させるとともに、在宅医療・介護連携のさらなる推進など、保健・医療・福祉が一体となって地域での暮らしを支える滋賀の「医療福祉」の実現を目指します。
- その人らしい「暮らし」を支えるという観点で、医療、介護、介護予防、住まいおよび自立した日常生活の支援などが包括的に確保されるよう、各地域の実情に応じた「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図ります。

(3)2040年を見据えた着実なサービス提供体制の構築

- 今後、ますます増大が予測される介護ニーズに対応しながら、必要な人に必要なサービスを適切に提供できるよう、サービス提供の要となる介護人材の確保・育成・定着に向けた取組を進めるとともに、サービス提供の基盤整備を図ります。
- 「自立支援・重度化防止」に重点を置きながら、持続可能で安心できる介護保険制度の運営のため、保険者である市町への支援を充実・強化します。

特に強調したい視点(重点事項)

1 地域で活躍する人材の確保・育成・協働

- 介護ニーズが増加する見通しの一方で、生産年齢人口(15歳以上65歳未満)の減少が見込まれます。国の需給推計によると、本県において、令和7年度(2025年度)に約3,200人、令和22年度(2040年度)には約10,500人の介護職員が不足するとの見込みとなっていることから介護人材の確保・育成・定着に重点的に取り組みます。
- 在宅医療ニーズの増加に対応するため、在宅医療を担う医師や看護師、歯科医師、薬剤師、リハビリテーション専門職などの人材確保に努めるとともに、高度な医療介護技術に対応できる医療職・介護職のスキルアップに取り組みます。
- 地域における支え合い活動を推進していくため、高齢者の生活支援や健康づくり・介護予防活動など、地域活動の担い手となるNPO・ボランティアなどの育成を促進します。

2 地域の特性に応じた支援の充実

- 暮らしに身近なところでの健康づくりや介護予防活動などが展開されるよう、住民やNPOなどの活動を促進するとともに、多様な担い手による生活支援サービスの充実や、自治体、社会福祉法人、住民組織などの協働による地域で支え合う仕組みづくりを支援します。
- 地域ごとに高齢化の進行状況は異なり、有する課題はさまざまであることから、地域の実情や特性に応じた介護などのサービス提供等が実施されるよう市町を支援します。
- PDCAサイクルを活用した保険者機能の強化による自立支援や重度化防止、地域包括ケアシステムの構築・深化に向けた医療介護連携など、介護保険制度の安定的運営に向けた市町の取組に対する支援の充実・強化を図ります。

3 地域医療構想の展開を踏まえたサービスの一体的な提供体制づくり

- 高齢化の進展に加え、医療機関の病床の機能分化・連携などの地域医療構想の展開により、在宅医療や介護でさらなるサービス需要が見込まれます。これに対応しながら、必要な人に必要な医療・介護サービスを適切に、かつ一体的に提供できる体制整備を図ります。
- 医療・介護サービスを効果的・効率的に提供できるよう、医療・介護関連情報のICT化を進めます。また、専門職などが有機的につながり、情報を共有しながら、適切な支援が行われるよう、人的ネットワークの形成を促進します。

4 新型コロナウイルス感染症等の感染症への対応や自然災害時における日常生活の支援

- 感染症の流行などの非常時にあっても、それまでの地域のつながりや支え合いを維持し、住み慣れた場所で日常生活がおくれる仕組みづくりを支援します。

第2章

地域力を生かした健康づくり・介護予防の推進と共生社会づくり

基本目標

医療と介護の一体的な推進と地域包括ケアシステムの深化

2040年を見据えた着実なサービス提供体制の構築

特に強調
したい視点
(重点事項)

地域で活躍する
人材の
確保・育成・協働

地域の特性に
応じた支援
の充実

地域医療構想の
展開を踏まえた
医療・介護サービスの
一体的な提供体
制づくり

感染症への対応や
自然災害時
における
日常生活の支援

第3章

【第1節】

誰もがいきいき
と活躍できる共
生社会づくり

老人クラブ・自治会・NPOなど
生きがいづくり・社会参加

健康なひとづくり・介護予防・リハビリテーション

健康なまちづくり

地域での共生社会づくり

安全・安心な滋賀
の実現

【第2節】

認知症の人や
家族等が自分
らしく暮らす
地域づくり

相談医・サポート医

普及・啓発の推進

認知症看護
認定看護師

認知症初期集中支援チームなど
早期発見・早期対応ができる体制の充実

認知症サポーター

本人の状況に応じた医療・介護の提供

地域における専門的支援体制

認知症の人と家族を支える地域づくり

【第3節】

暮らしを支える
体制づくり

本人の暮らしを中心に据えた医療福祉の推進

日常療養から人生の最終段階のケア・看取りが可能な体制づくり

在宅療養を支援する医療・介護資源の充実

かかりつけ医・訪問看護師など人材の育成とスキルアップ

地域リハビリテーションの推進、要介護状態の改善と重度化予防

地域包括支援センターの機能強化
地域ケア会議の取組の推進

多職種・多機関連携の推進
入退院と在宅療養との円滑な連携

高齢者虐待の防止・権利擁護の推進

【第4節】

2040年を支える
介護職員の
確保・育成・
定着の推進

介護福祉士・
介護支援専門員等
介護職員の
確保・育成・定着

業務の改善

感染症に備えた
職員の
育成・確保

【第5節】

2040年を見据え
た着実なサー
ビス提供体制の構
築

居宅サービス

地域密着型サービス

施設サービス

居宅介護支援事業

共生型サービス・その他のサービス・住まい

感染症や自然災害
に強い
サービス基盤づくり

【第6節】

介護保険制度
の安定的運営
と市町支援

介護給付の適正化・自立支援・重度化防止に向けた市町支援

サービスの質の確保・サービス選択を可能にする仕組みづくり